

現場からの声

【二級河川二河川水系鎌ヶ原川
左支溪災害関連緊急砂防工事】

現場の特徴・問題点など



本堤両袖施工状況

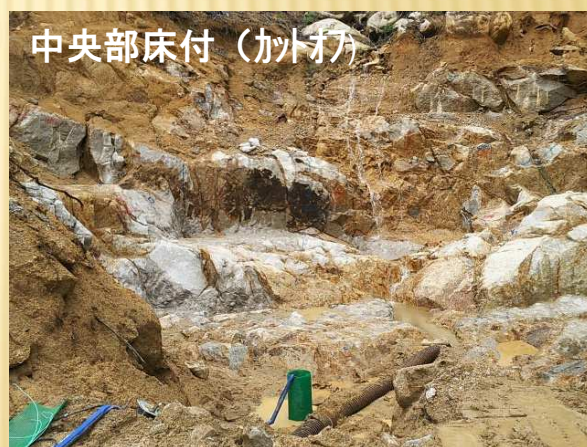
本堰堤の形状は、地山へ効率的に嵌入するため、両袖折れとなっています。そのため、工事の難易度が高く、使用機械の能力内で施工するためには、手順を綿密に計画する必要がありました。

また、掘削を進めていくと、想定より高い位置から岩盤が出てきました。さらに、中央部の掘削では、設計値より硬い硬岩クラスの岩盤が出ており、掘削に想定外の時間を要する問題が発生しました。

工夫など

限られた施工ヤード内で土砂や資材の仮置きを考えながら工事を進める必要がありました。機械の施工能力なども考慮した結果、一度に本体を施工することは困難であったため、両袖部分の施工を先行し、最後に中央部を仕上げました。

また、岩掘削では支持地盤の高さを変更（カットオフ）することで、掘削量と本体コンクリート量を減らし、経済性の向上と工程の短縮に努めました。



中央部床付（カットオフ）

今後の抱負

今回施工させて頂いている現場は、災害関連緊急砂防事業ではありますが、近隣住民の皆様のご協力なしには進めることが出来ません。今後とも安全・環境に留意し早期の完成を目指して努力いたします。

【現場からの声】 大之木建設株式会社 植敷さん（監理技術者）